

平成 24 年度事業別評価調書 (チェックリスト)

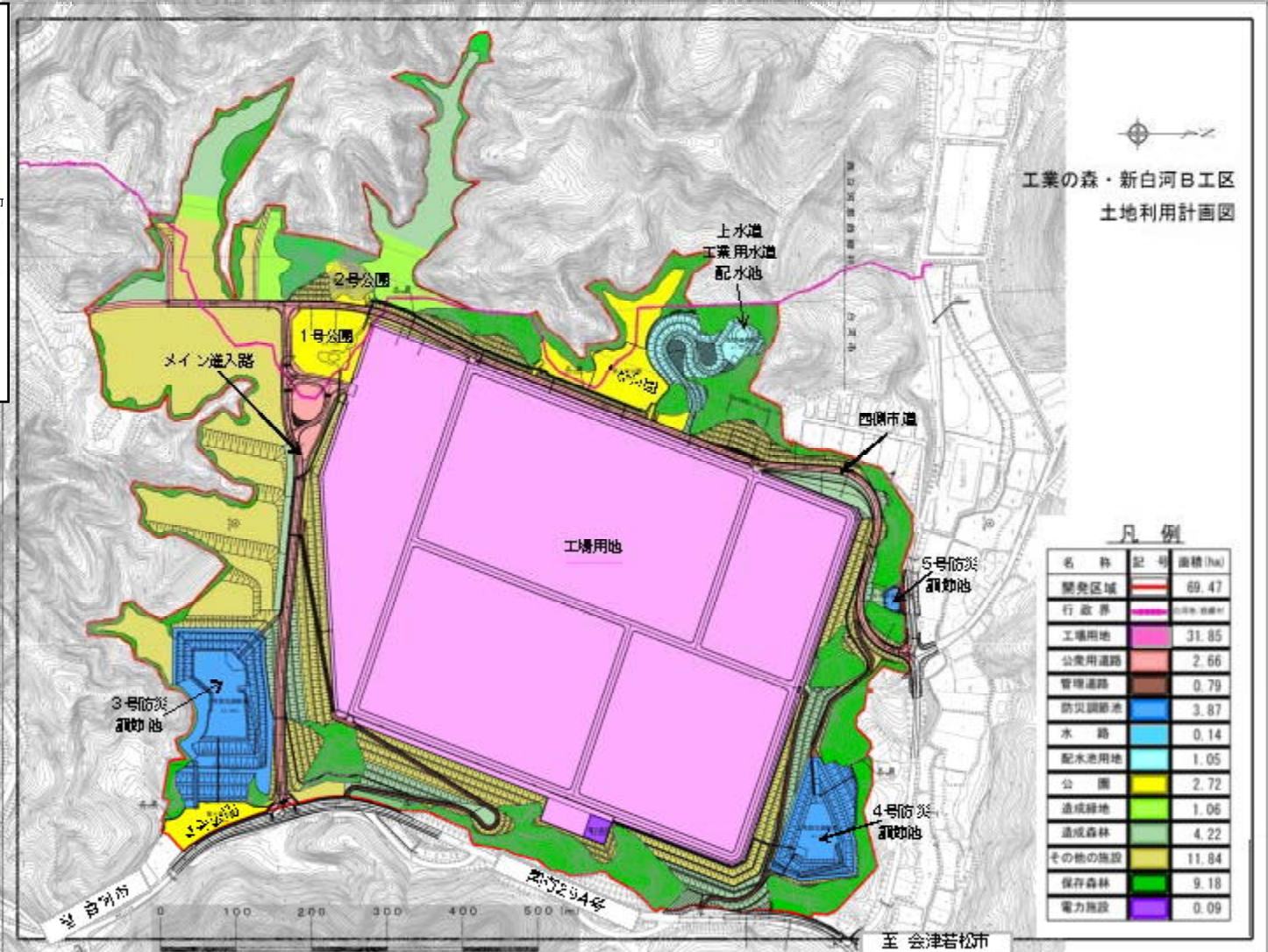
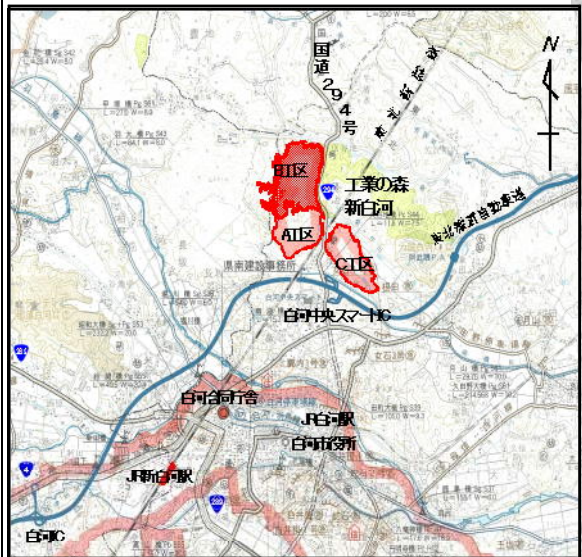
整理番号	107	事業名	白河複合型拠点整備事業		補助 単独	地区名 (事業箇所名)	工業の森 ・新白河B工区	関係 市町村名	白河市 西郷村	担当部 (局) 課名	企業局 販売推進課			
評価の対象となる理由	第 1 項 第 6 号：その他社会経済情勢の急激な変化等により評価を実施する必要が生じた事業					前回 (平成 年度) 評価時 の対応方針	委員からの提言：－ 付帯意見：－		県の対応方針：事業継続					
事業根拠法・要綱等の名称	福島県公営企業の設置等に関する条例													
事業 の 概 要	[事業目的及び全体計画] (1) 事業目的 三菱ガス化学㈱の進出が決定し、同社との間で土地売買契約を締結した工業の森・新白河 B工区について、オーダーメイド型工業団地として整備を行い、企業立地による本県産業 振興と地域経済の活性化を図る。 (2) 全体計画 工業団地造成 69.5 ha 【内訳】工場用地31.85ha、造成森林4.22ha、防災調節池3カ所(3.87ha)、 公園4カ所(2.72ha)、公衆用道路2.66ha等						[事業に関する社会経済情勢] (特記すべき事項) (1) 現在の状況 県では、大震災後の産業復興のため、ふくしま産業復興企業立地補助金や復興特区制度等を活用 して、県内の雇用の確保、産業の集積等のため、企業誘致に取り組んでいるが、受け皿となる大区 画の工業団地が極めて少ない状況にある。 (2) 変化の有無 有 <input checked="" type="radio"/> 無 (3) 変化の内容 (4) 地域の協力体制等 企業及び白河市と締結した立地基本協定において、道路等の周辺環境整備や人材確保について、 白河市が協力することになっている。							
	事業の採択年度	H22	完成目標年度	H25	用地着手年度	(H7)	工事着手年度	H24	巡					
	事業費 (百万円)	3,500	これまでの 投資事業費 合計	500	左の財源内訳又 は負担割合	国 県 市町村 その他	100%	22年度	81	23年度	419	24年度	1,208	社 会 経 済
	進捗率	事業費ベース	14.3%	用地費ベース	(100%)	その他 ( )		%						
	※用地費(維持管理費等を含む)については、B工区を含む地域一帯の事業の中で、平成7年に先行取得(買収)したものをB工区に按分したものととして、別途、2,580百万円がある。													
事業 の 進 捗 状 況	[整備の状況] 平成24年3月に企業との土地売買契約を締結し、立木伐採委託、防災調節池工事、用地造成 工事を施工中である。 [事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し] 平成26年3月に工場用地を企業に引き渡すために、平成26年1月までに工事完了を目指す。 [関連事業の進捗状況] 特になし						[環境への影響等] 希少野生動植物の情報に基づく対応 <input checked="" type="radio"/> 実施 ・ 未実施 ( ) (1) 環境への影響内容とその対策 学識経験者からなる環境検討委員会により、造成計画にかかる動植物等の生態系への影響に ついて検討し、開発区域内で確認された貴重種については、開発区域外に移植等を行い、継続 的にモニタリング調査を行っている。 (2) その他特記すべき事項 特になし							
	みなし進捗率 = (B)/(A) = 28.6% < 70.0% 投資済事業費 (B) = 500 (百万円)						評 価							
	みなし事業費 (A) = $\frac{\text{全体事業費} 3,500 \times \text{経過年数} 2 \text{年}}{\text{全体工期} 4 \text{年}} = 1,750 \text{ (百万円)}$						評 価							
						A、 <input checked="" type="radio"/> B、 C								
						評 価								
						A、 <input checked="" type="radio"/> B、 C								

平成24年度事業別評価調書（チェックリスト）

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p>【地元住民・受益対象者の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の状況                  ・団地近隣を対象とした事業説明会において、地元住民からは、雇用の創出など事業に対する期待の大きさが感じられた。                  ・工場用地については、オーダーメイド方式であるため、企業側の希望を十分に反映できるように、県の基準等を踏まえながら設計内容について調整した。</p> <p>(2) 評価実施時の状況                  本年5月に造成工事に着手し、定期的に企業側と工事内容について調整しながら進めている。</p> <p>【関係機関・団体の意向】</p> <p>(1) 事業採択時の状況                  本事業及びその後の工場の建設及び操業により、地元での大幅な雇用の増加や県内関連産業の生産額の増加等の広域的な波及効果が見込まれることから、白河市、西郷村と一体となり、事業推進に取り組んだ。</p> <p>(2) 評価実施時の状況                  事業採択直後に、東日本大震災が発生したことにより、産業の復興が重要課題となり、地元からは雇用の確保に対する要望が更に強まり、事業の着実な進展及び企業の早期立地が期待されている。</p>	計画変更の必要性・コスト縮減や代替案立案等の可能性	<p>【計画変更の必要性】</p> <p>(1) 必要性の有無                    有                    <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容</p> <p>【代替案立案の可能性】</p> <p>オーダーメイド方式の用地造成事業であり、企業側との調整を行いながら、短期間で造成を行う必要があるため、当計画以外の代替案は考えられない。</p> <p>【コスト縮減の取組等（特記すべき事項）】</p> <p>周辺公共事業で発生した建設発生土を受け入れて有効活用するとともに、再生骨材の利用を積極的に行っている。</p>				
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px 10px;"><input checked="" type="radio"/> A、</td> <td style="padding: 2px 10px;">B、</td> <td style="padding: 2px 10px;">C</td> </tr> </table>		評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C	
評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C				
費用対効果分析等の要因の変化	<p>【費用対効果分析等】</p> <p>(1) 手法                  福島県産業連関表を利用した県内経済波及効果の算出</p> <p>(2) 費用対効果                  C：今回のB工区造成事業の費用    3,500百万円                  B：B工区への企業立地に伴う経済波及効果（県内生産及び所得の増大）                    B1→工場建設段階における経済波及効果    46,089百万円                    B2→操業開始後における                    "                    63,343百万円</p> <p style="margin-left: 20px;"> <math>B1 / C</math>（工場建設段階の費用対効果） = <math>\frac{46,089百万円}{3,500百万円} = 13.2</math> </p> <p style="margin-left: 20px;"> <math>B2 / C</math>（操業開始後の費用対効果） = <math>\frac{63,343百万円}{3,500百万円} = 18.1</math> 【年間ベース】                 </p>	総合評価	<p>【総合評価と対応方針案】</p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     本県への進出が決定している企業の立地のために必要不可欠な工業団地の整備であり、工場の建設及び操業により、地元での大幅な雇用の増加と広域的な経済波及効果が見込まれ、本県産業復興の要となる事業であることから、企業との契約に基づいて継続して事業を実施する必要がある。                 </div> <p>(2) 対応方針及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width:20%; padding: 5px;">対応方針案</td> <td style="padding: 5px;">事業継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">計画的な投資により、事業を推進する。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%; margin-top: 10px;"></div>	対応方針案	事業継続	今後の事業の進め方	計画的な投資により、事業を推進する。
	対応方針案		事業継続				
今後の事業の進め方	計画的な投資により、事業を推進する。						
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px;">評価</td> <td style="text-align: center; padding: 2px 10px;"><input checked="" type="radio"/> A、</td> <td style="padding: 2px 10px;">B、</td> <td style="padding: 2px 10px;">C</td> </tr> </table>	評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C			
評価	<input checked="" type="radio"/> A、	B、	C				

[位置図] 及び [事業概要図]

国土地理院承認 平14総裁 第149号



(別紙)

## 費用対効果分析

## 白河複合型拠点整備事業（工業の森・新白河B工区）

$$\frac{\text{効果(経済波及効果)}}{\text{費用}} = \frac{B①+B②+B③}{C}$$

## [費用]

C：今回のB工区造成事業に要する費用

## [効果項目]

B1：工場建設段階の効果（経済波及効果）

B2：操業開始後の効果（ " ）

①直接効果：当該立地企業の工場建設や機械設置等に伴って新たに発生する生産と雇用の効果

②第1次間接効果：直接効果として生産が増加する産業分野で必要とされる原材料等を供給するため、新たに発生する生産と雇用の効果

③第2次間接効果：直接効果と第1次間接効果で増加した雇用者所得が消費に回り、当該消費財の生産が増えることで新たに発生する生産と雇用の効果

## [考え方]

B工区への企業立地に伴う工場建設段階及び操業開始後の経済波及効果の金額を算出し、造成費用と比較する。

## 《工場建設段階の費用対効果》

## 雇用者誘発数（雇用増加数）

$$\frac{B1①+B1②+B1③}{C} = \frac{46,089\text{百万円}}{3,500\text{百万円}} = 13.2 \quad 4,252\text{人}$$

## 《操業開始後の費用対効果》【年間ベース】

$$\frac{B2①+B2②+B2③}{C} = \frac{63,343\text{百万円}}{3,500\text{百万円}} = 18.1 \quad 1,691\text{人}$$